【公報種別】特許法第１７条の２の規定による補正の掲載
【部門区分】第６部門第１区分
【発行日】令和7年6月2日(2025.6.2)

【国際公開番号】WO2024/062833
【出願番号】特願2024-548147(P2024-548147)
【国際特許分類】
G01N 21/03(2006.01)
G01N 21/05(2006.01)
G01N 21/64(2006.01)
【FI】
G01N 21/03 Z
G01N 21/05
G01N 21/64 Z

【手続補正書】
【提出日】令和6年12月18日(2024.12.18)
【手続補正１】
【補正対象書類名】特許請求の範囲
【補正対象項目名】全文
【補正方法】変更
【補正の内容】
【特許請求の範囲】
【請求項１】
被検液の蛍光分析に用いられる蛍光分析用セルであって、
前記被検液を収容する内部空間を挟んで対向する一対の透光部と、
前記内部空間を取り囲むように設けられ、かつ、前記一対の透光部間の対向面の距離を５００ｎｍ以上１ｍｍ以下とするスペーサ部と、
を備える、蛍光分析用セル。
【請求項２】
前記一対の透光部それぞれを構成する平板状の一対の透光部材と、
前記一対の透光部材の間に設けられるとともに、前記スペーサ部を構成するスペーサと、
を備える、請求項１に記載の蛍光分析用セル。
【請求項３】
前記一対の透光部材を挟んで固定する挟持部材をさらに備える、請求項２に記載の蛍光分析用セル。
【請求項４】
前記透光部は、石英ガラスから構成されている、請求項１乃至３の何れか一項に記載の蛍光分析用セル。
【請求項５】
前記被検液は、吸光度が２以上である、請求項１乃至３の何れか一項に記載の蛍光分析用セル。
【請求項６】
請求項１乃至３の何れか一項に記載の蛍光分析用セルを有する蛍光分析装置。
【請求項７】
前記蛍光分析用セルに向けて励起光を集光して照射する励起光照射部と、
励起光が入射する側の前記一対の透光部材の面に垂直な面が励起光の照射方向に対して傾斜するように、前記蛍光分析用セルを設置するセル設置部とを備える、請求項６に記載の蛍光分析装置。

【請求項８】
励起光の集光位置と前記蛍光分析用セルの位置との相対位置を調整する調整機構をさらに備える、請求項６に記載の蛍光分析装置。
【請求項９】
励起光を照射することによって前記蛍光分析用セルで生じた蛍光を検出する蛍光検出部と、
励起光が前記蛍光分析用セルを透過することによって生じた透過光を検出する透過光検出部と、
前記透過光から求まる吸光度を用いて、前記蛍光検出部が検出した蛍光の強度に対して補正を行う演算部とをさらに備える、請求項７に記載の蛍光分析装置。
【請求項１０】
前記蛍光分析用セルは、前記内部空間に前記被検液を導入する導入部と、前記内部空間から前記被検液を導出する導出部とを備えるフローセルである、請求項６に記載の蛍光分析装置。
【請求項１１】
請求項１乃至３の何れか一項に記載の蛍光分析用セルを用いる蛍光分析方法。
【請求項１２】
蛍光分析される分析対象セルの製造方法であって、
厚みが５００ｎｍ以上１ｍｍ以下である環状のスペーサ、及び、前記スペーサの内側に位置する被検液を、一対の透光部材により挟み込むことによる、前記分析対象セルの製造方法。